

和の技術を未来へ繋ぐ新たな一歩 京都和装小物メーカー「アンドウ」創業100周年 絞りと染めのラボ“<ANDO>体験型コンセプトショップ”OPEN

和装小物総合メーカーのアンドウ株式会社（京都府京都市下京区、代表取締役：安藤 一郎）（以下、ANDO）は、今年7月に創業100周年を迎えました。1923年（大正12年）、京都において京鹿の子絞の帯揚げや手絡（てがら）の製造で創業し、現在は和装小物、履物、浴衣や甚平など和装小物全般の製造、卸を行っています。このたび100周年を機に、「人と和をつなぐ」ことを使命とし、生活者の日常をより豊かに彩る一員となるべく、これまで以上に開かれた ANDO の取り組みとして本社1階に“<ANDO>体験型コンセプトショップ”をオープンします。熟練の技から生まれる製品をはじめ、絞りや染めの技術、歴史に触れることのできる空間として、業界関係者だけでなく、一般の方々をお迎えします。絞りや染めの技術や伝統を守りながら、訪れる方々とともに、その技術が日常を彩る一員となる未来を創って参りたいと思います。



これからの時代を見据え、長年培ってきた技術を活かし、ショップ内にて、一般の方々を対象とするワークショップの実施も予定しています。ANDO が「人と和をつなぐ」役割を担うことをめざし、公式 web サイトのリニューアルをいたしました。製品や web サイトを通じて、ANDO の思いと取り組みを伝えていきたいと思ひます。

【“<ANDO> 体験型コンセプトショップ”OPEN に向けて】

技術を生活の中に。それが日常の豊かさにつながる。

創業から近年に至るまで、これまでの100年は、暮らしの中に着物があつた100年で、織や染め、絞りの技術は、着物を表現するための技術でした。現代は生活様式も変わり、日常着として着物を着ることはほとんどなくなり、着物が生活の中心でなくなり、これらの技術は失われつつあります。時代の流れの中で消えていくスタイルも、形や関わり方を変えることで、生活の中に置くことができると私たちは考えています。

私たちの生活の中で普段使いできるアイテムに、日本に古くから伝わる技術や文化が宿っていると、ふれるたびに、目にするたびに、自然と、自分が日本人であることや、日本のものにほっとするような感覚を感じられるのではと思います。日



常そのものは変わらなくても、普段使いのアイテムに和の技術やデザインを取り入れたりすることで、それらを通じて、無意識に、自分が日本人であるというアイデンティティを確認するように生活できるようになるのではと思います。何気ないいつものアイテムがちょっと輝きだすように、そこには、こまやかな手仕事や、風合い、仕上がり、設えがあり、それらが日常に豊かさをもたらしてくれます。

生活様式は変わりますが、長年受け継いできた技術を、日常の中に置くことで、これから先の未来も、生活を彩る一員として日常に豊かさを提供していきたいと思っています。今回オープンするショップは、商品を見て、触れてもらうことはもちろんですが、アイデアや交流が生まれ、新

しい歴史を刻んでいく、はじまりの場となることを願っています。

【“<ANDO> 体験型コンセプトショップ”について】

① 技術と商品の Show Up 空間

<ANDO> 体験型コンセプトショップは、製品を単純に陳列するのではなく、訪れる人に新鮮な驚きと感動を提供できる空間として、目に迫る圧倒的な陳列をめざしました。入り口から入ってすぐ正面の壁面には、反物ならではの形状を活かした壁掛け陳列を行い、ANDOの技と思いをインスタレーションとしてもお楽しみいただける陳列を採用しました。





ショップ内の展示台には、絞りの製品を整然かつダイナミックに陳列することで、絞りならではの特徴が伝わるよう工夫しました。絞りや染めの技術を、訪れる人の視覚と触覚に届けます。わくわくして、思わず手に取ってしまう、会話が生まれる、そんなシーンをイメージしています。

② 絞りと染めのインスピレーションラボ：商談／ワークショップスペース

体験型コンセプトショップ内の商談／ワークショップを実施するスペースには、繭をイメージしたデザインの天井とテーブルを採用しました。また、絞りや染色、文化やものづくりにまつわる書籍などの資料もご用意しています。ショップ内のたくさんの商品を目で見て、手に取って、色みや風合いに直接ふれて、これからどんなものを作ろうか、と考えていただく際に、アイデアが生まれやすい環境をめざしました。デザイナーやクリエイターの方とのアイディエーションや研究、学生や一般の方とのワークショップを通じて、技術や人、アイデアの交流が生まれるような、**絞りと染めのインスピレーションラボ**となることを目指しています。



③ ワークショップ開催への思い：ものづくりの楽しさを体験して

ショップ併設のガラスを隔てた工房では、実際に染色を体験することができます。その様子をガラス越しに見学することもできます。今後、このスペースで一般の方々が参加することのできるワークショップの開催を予定しています。自分の手で作るという、ものづくりの原点を体験していただくため、ハンカチやトートバック、Tシャツなどの絞り染め体験をご用意しています。難しい作業ではなく、簡単なステップで体験できるものですが、それぞれの力加減や染料の染み込み具合などで、ひとつひとつ全く異なる仕上がりになります。縛った糸をほどいて広げた時の、予想外の仕上がりの驚きをぜひご体験ください。簡単だからこそ、それぞれの工

夫も活かせるワークショップになると思います。ワークショップを通じて、ものづくりの楽しさと可能性をお届けします。
ワークショップ開催日程は、公式ホームページでお知らせいたします。



【アンドウ株式会社について】

ANDO

1923年（大正12年）、京都において京鹿の子絞の帯揚げ手絡（てがら）の製造からスタートし、2023年に創業100年を迎えた和装小物総合メーカー。和装の枠を越え、「人と和をつなぐ」ことを使命として、伝統の技術と文化を、現代のライフスタイルの中に取り入れ、日常を豊かに彩ります。

名称：アンドウ株式会社

取締役社長：坪倉 弘

所在地：〒600-8086 京都市下京区柳馬場通五条上る柏屋町 327 番地

<ANDO> 体験型コンセプトショップ所在地：同上

事業内容：和装小物製造、卸

創業：大正12年

webサイト：<https://ando-kyo.co.jp/>

<SDGsの取り組み>

アンドウ株式会社は、2022年4月、SDGs宣言を策定しました。

世界に通用する品質を目指して

品質管理の徹底により京都から世界へ世界標準レベルの「和」の製造業を目指してまいります。

- ・ISO9001の認証継続
- ・JISに基づく製品試験を通じた品質保証管理体制の強化
- ・品質向上に向けたトレーサビリティ



環境配慮経営

自然環境と事業活動の調和を図り豊かな自然環境の保護に努めてまいります。

- ・ISO14001の認証継続
- ・「京-VER 創出促進事業」を通じたCO2削減に繋がる設備の導入
- ・廃棄物の削減に向けた残布の再利用や詰紙の不使用などの徹底



世の人々に奉仕する

日本の伝統技術を継承するための様々な活動を通じて子ども達の健全な育成に取り組んでまいります。

- ・近隣の小学校への染め体験授業の実施
- ・ラオスの工場設立を通じたガラ紡の復興と現地の雇用機会創出
- ・ラオスの小学校への文房具等の寄付

